



## 家庭教育学級について



こども園、幼稚園、小・中学校で行われる家庭教育学級は、保護者が学習する機会でもあり、保護者同士の仲間づくりの場でもあります。

昨年度は、新型コロナウイルス感染予防のため、ほとんどの園や学校で家庭教育学級が開催できませんでした。

今年度も今後の状況によっては、計画されても急きょ中止になることもあります。各園・学校から家庭教育学級開催のお知らせがきたら、ぜひ参加してみてください。子育ての悩みを話しあったり、物づくりを通して仲間と交流したり、また、子どもの成長についての知識を増やしませんか。

### 各園や学校で行われた家庭教育学級 令和元年度実施された中から～



こども園・幼稚園で好評だったのは、「ヨガ教室」「ヒップホップ」「3B体操」「コサージュ作り」などで、親子で楽しめるものが多かったようです。これらは、親同士のつながりや我が子とのつながりを深める機会でもあります。親子で行う体操では、子どもたちは本当にうれしそうでした。子どものはじけるような笑顔を見ると親子の触れ合いの大切さを感じました。



小・中学校では、「アロマテラピー」「給食試食会」「いちご大福作り」「歯磨き教室」「スマホ・ケータイ安全教室」などが好評でした。



給食試食会では、普段、子どもが食べる給食を試食し、栄養士の方から食育の講話を聞きま

す。育ち盛り子どもたちにとっては、食べることは、自分の体を作ることなのでとても大切です。特に、1日のスタートである朝ごはんは重要です。“早寝・早起き・朝ごはん”のリズムを作りたいですね。

### 教育委員会が主催する家庭教育学級

#### 《CAP 講演会》



市立幼稚園・こども園の就学前の幼児と保護者の方が対象で、全園で実施されています。

CAPとは、子どもの人権教育であり、「安心」「自信」「自由」であることをロールプレイを通して楽しく学ぶことができます。子どもには自分が嫌なことには目をつぶらず、「嫌」と言っているということを教えてくれます。大人にとっては、あらゆる暴力（いじめ・虐待・誘拐・性暴力など）から子どもを守るというワークショップ型のプログラムです。

以下は、参加した方々の感想です。

とってもわかりやすく、考えさせられる講座でした。また、自分の子どもへの接し方を見直すきっかけとなりました。

親が、「どう教えたらいいのか？」ということを知りやすく教えていただき、大変ためになりました。

子どもにこういうことが起きたら心配なのにどれも家庭で教えたり、対処法を教えたりしたことはありませんでした。大切なことを教えていただき、参加してよかったと思いました。

## 《親業（入門）講座》

今年は、10月に入門講座を計画しています。入門講座は親業講座より詳しい内容で2日間の講座です。詳細は、広報誌やチラシでお知らせします。

この講座では、親としての役割や子どもとのコミュニケーション方法のスキルを学びます。そして、よりよい親子関係を築くことにより、健全で温かい家庭を作ることを目指します。

ちょっとした声掛けの仕方を学ぶことで、子どもとぶつからない関係をつくります。

以下は参加された方の感想です。



普段、時間に追われている時は、特に子どもの話を聞いてあげてないと思いました。今日学ばせていただいたことをやってみます。

本日は大変勉強になりました。自分の子育てを改めて考えるよい機会となりました。なかなか難しいですが、実践できるようがんばります。

## 親子のコミュニケーションはとれていますか？

1学期も中盤を迎え、登園・登校にも慣れてきた頃ではないでしょうか。園や学校は、楽しいところであってほしいですが、いろいろなトラブルも起こります。

集団生活の中では、お互いが主張したり、譲り合ったり、人と人が関わり合うことで日々の生活が流れていきます。学校は、小社会です。その中で、子どもは1日の出来事をたくさん抱えて帰ってきます。

今日は何んなことがあったか、聞いてあげていますか？



幼児や小学生では・・・



子どもが、話をしてきたらささいなことでも、子どもの目線にたって聴きましょう。

「今、忙しいから後でね。」と言ったら、必ず後で（家事が済んだら）聴きましょう。

「うれしかったこと」「楽しかったこと」「いやだったこと」「くやしかったこと」など子どもの話を聴いてあげることで、安心して何でも話せる信頼関係を築くことができます。子どもと1日の出来事を楽しく話すなど、家族の会話を増やすことで家族の絆が深まります。お互いに考えていることを話し合う時間を大切にしましょう。



親子で触れ合う機会を増やしましょう。

忙しい毎日の中では、家族みんなで過ごす時間が少なくなりがちです。家族が一緒にいる時間をつくることで、夫婦や親子の会話が増え、コミュニケーションが深まります。また、一緒に家事をしたり、家族でできる何かに取り組んだりすることで家族の一員として支え合っているということを実感します。

中学生になると・・・



反抗期を迎えるのは、成長している証拠です。お子さんの好きな事、好きな食べ物、好きな芸能人を知っていますか？

お子さんの考えを認めていますか？

親が子どものためにと欲してすることが子どもにとっては押し付けになったりすることがあります。お子さんの気持ち・考えを受け止めていますか？頭ごなしに否定せず子どもの考えをじっくり聴いてあげましょう。

また、結果ではなく、努力の過程を認めてあげましょう。親子のコミュニケーションは、子どもの気持ちを受け止めることからスタートします。ダメなことは毅然とした態度で叱ることも必要ですが、努力していること、頑張ったことは認めて褒めてあげましょう。

(参考資料:千葉県教育委員会「家庭教育支援資料」より)